

ルトコロナリ 畏クモ上皇室ニ奉カセラレテハ我社章創困難ノ際ニ當リ特  
 別ノ御恩召ヲ以テ金銀ノ三分ノ一ハ五萬二千株 現在八十六萬株ノ御所有  
 ヲ賜ハレリ  
 當時維新日尚淺ク 徳川幕府財政疲弊ノ後ヲ受ケ 政府大宮ノ力説ヲ以テシ  
 テモ其ノ資金ヲ得ル能ハザリシナリ 此ノ時ニ當リ我社願リ此ノ株ナルモ  
 採ニ浴セルハ其ノ爾深ク御恩召ノ存セザレ給フモノト吾等一同ノ常ニ感激  
 ヲ勉ハザルトコロナルノミナラス 爾來國家モ亦年々所謂赤字財政中ヨリ七  
 百萬圓ニ及ブ巨額ノ補助金ヲ交付サル、ニ鑑ミテモ眞ニ我社ノ堪ヘル國家  
 的使命ノ重大ナルヲ痛感セザルヲ得ズ  
 余上ノ如ク 皇恩 國恩ヲ蒙ル我社ニシテ 今次重ネテ困難化サシ居ルカ  
 如ク一大不救ヲ蒙テシ觀然トシテ愧テガ 而モ之ヲ蔽ヒテ強辯ヲ恣ニシ敢テ  
 事實ヲ歪曲シ掩耳盜鈴ノ聲ヲ明ラ内外ニ發シテ毫モ恥ツルナク所以ノモノハ一  
 ニ我社社幹部ノ反國体的精神ニ起因セザレバアザルナリ  
 即チ近年我社社幹部ノ殆ンド總テ外國體觀念ナク我社傳統ノ指導精神  
 ヲ誤リ 只清實信待ノ專斷ヲ敢テシ 人事ノ平衡ヲ失シ 爲メニ社内ノ人心  
 フシテ極度ニ弛緩シ 思想ノ混亂ヲ失ハシメ糊塗之夕ニ絶制素ルニ因ルナリ  
 其ノ弊害ノ擧ク并治焉トシテ火ヲ見ルヨリ明ナル者アリ 即チ此年來  
 (一) 國際信義失墜ニ係ル我社が密輸ノ續發  
 (二) 人民最優ノ一翼トシ 吾等軍用船ニ指令ヲ發シ停船セシメタル勞働團體ヲ  
 (三) 一國有事ノ際ニ備フベク海上御軍艦隊ヲ抑圧セシメ  
 (四) 役員ノ永年生活ヲ毒シ兼レル 金銀惡制ヲ固執シ 兩度逓信當局ノ下命ニ  
 對シテ毫モ實行ノ誠意ヲ示サズ  
 (五) 新造船計画ニ際シ 其ノ使命ヲ思ハズ且多數人命ノ安危ヲ顧ミザルカ如ク

其ノ罪惡ヲ算セバ指ヲ僕ムルニ堪ハサルモノアリ 而シテツノ惡クハ皆因  
 ヲ茲ニ發ス  
 世上我社ヲ伏魔殿ト稱スル亦所以ナシトセズ 吾等固ヨリ之ヲ知ラザルニ非  
 ズ 知ツテ之ヲ忍緒ニ附スルモノニ非ズ  
 愛社ノ念熾烈ナルモノアルカ故ニ如上擧げノ一掃ト社内ノ爾正トテ強辯シ道  
 言ニ乘ルコト便ニ三年ヲ起ユ 而モ却ソテ吾等ニ彈圧ト威嚇トヲ以テ  
 シ刑ユルニ生活ノ發威ヲ以テス 現ニ既ニ我社ヲ餘儀ナクサレ及ヒサレツ  
 ハアルモノ産ニ而シ止マラザルナリ  
 嗚呼愛國論々トシテ皇恩ヲ忘レ國體ヲ誤リ國是ニ反メ利サヘ自ラ我社傳統ノ  
 士氣風格ノ萎靡ヲ滅却ス 斯クテ爭テ乃國家的使命ヲ負荷シ得ンベ  
 今々諸業一新ノ秋 吾等起ソテ以テ我社百年ノ大計ノ爲メニ我社傳統ヲ指導  
 精神ヲ顯揚シ以テ國體ノ光輝ヲ發揚シ擧ゲサント企圖スルハ實ニ報告ノ大責務  
 タルヲ確信ヒテ自カヲ勉ハザルトコロナリ  
 伏シ吾等ノ微衷ヲ諒セラシム向奉仰明鑑ラヌレ給ハラシ事ヲ  
 昭和十二年二月 日

卸船明會  
 代表 日比 初一  
 總理、陸軍、海軍、内務、外務、大藏、逓信各大臣  
 憲兵司令官、警視總監、時局協議會宛